

# Harbeth

—British Traditional Style—

## *Super HL5*



**Without Adding Anything,  
or Taking Anything Away...**

# Harbeth

## Super HL5

¥219,450(本体¥209,000)/1本

1987年、ハーベスの創立者ダッドリー・ハーウッドから未来を託されたアラン・ショーは、師の手法を受け継ぎつつも自らの理想とするスピーカー設計を形にすべくHL Compactを開発、同じくアルミニウム・ハード・ドーム型ツイーターの採用によってデジタル時代に応えたHL5を発表しました。つまりHL5こそは、ハーベスが完全にアラン・ショーの時代に入ったことを象徴する記念碑的モデルだったのです。その後ハーベスは、技術的ノウハウの蓄積を続け、スピーカー設計の考え方や製造手法における進化を重ねてきました。そして今、HL5の設計理念を受け継ぐ新しいモデル、Super HL5に、その技術的蓄積をふんだんに投入、あたたかな音のたたずまい、絶妙の帯域バランスというハーベスならではのクオリティーに、力感とさらなる分解能という新しい魅力を加えることに成功しました。

### (呼吸するエンクロージャー設計) SuperTuned Structure™

心安らぐ“ハーベスの音”。その実現のために、ハーベスではこれまで一貫してエネルギー蓄積の少ないエンクロージャー構造の洗練を重ねてきました。すなわち、レゾナンス、スティッフネスの異なる高硬度で薄い素材を使用し、これを複層させたツツタル系の素材でダンピングしながら全体の音色を整えていく独自のアプローチ。重量や剛性で押さえつけるのではなく、素材そのものの物性とその組み合わせによって不要共振を高速にダンピングする独自の考え方です。しかも、フロント、リアの両バツフルが取り外しできるBBC伝統の構造により、エンクロージャーはいわば“損失の大きな結合”状態を形成しています。素材の質量とコンプライアンスの精妙なチューニングによって中音域における不要共振を素材から除去し、ごく薄い素材が音のエネルギーに俊敏に反応できるようコンピューター解析にてチューニングしていくテクニック。このSuperTunedStructure™は、容積50リッターのSuper HL5のエンクロージャーにおいても、特に低周波数帯域にて呼吸するかのごとく動作する、木製の楽器にきわめて近い状態の実現に成功しており、ゆとりある再現性と3ウェイのウェル・バランス、ふくよかにしてタイトな再現性のメイン・ファクターになっています。もちろん、フロント・バツフルのエッジは、ラウンド処理によって音波回折を低減し、ジャージー素材のグリルをフロント・バツフル溝に埋め込んでエンクロージャーとの一体感を高めつつ音質への影響を抑えるSuperGrille™の手法を活かしきっています。

### (スーパー・ツイーターの搭載による) あざやかな高域の輝き

Super HL5における最大の特徴であると同時に、HLファミリー史上初めての試み、それがスーパー・ツイーターの搭載です。すなわちSuper HL5は、



これまでの2ウェイ構成をふまえて高域のさらなるエクステンションを図った3ウェイ・システムなのです。スーパー・ツイーターはチタン・ダイアフラムを採用したきわめてロー・マスな20mm口径ハード・ドーム型。ネオジウム・マグネットによる強靱な磁気回路をそなえたこのスーパー・ツイーターが10kHz以上の高域再生を受け持つことに



よって、Super HL5は、緻密な分解能、空気感、広がり感において格段の向上を見ることがになります。さらに高域のスムーズなエクステンション、ディティール感に富んだ中域、低域もタイトに整えられ、特に高分解能の最新フォーマットによるCDの再生におけるゆとりあるパフォーマンスには、文字通り目を見張るものがあります。もちろん、その特性はメイン・ツイーター、中・低域ドライバー・ユニットと完璧な3ウェイ・バランスのマッチングを取っており、なめらかな曲面に仕上げられた音波ガイドの採用とともに開放感あふれる音場の創成に貢献しています。

### (充実の再現性に磨きをかけた) RADIAL™コーン・ダイアフラム

一方、10kHz以下の高域を担うメイン・ツイーターは、HL5で初めて採用された25mm口径アルミニウム・ハード・ドーム型。高熱時にも音崩れを起こすことなく最適の性能を維持できるようフェロフルード・クーリング処理を施したこのツイーターは、ワイド・レンジなデジタル・ソースに対応すべく、ハーベスの仕様に基づいてSEAS社でカスタムメイドされたモデル。したがってその優秀性は既に証明済みと言うことができます。中・低域ドライバー・ユニットには、ハーベスが90年代から素材メーカーや大学の研究室との技術交流の中で試行錯誤を繰り返した末に完成した理想的なダイアフラム、“RADIAL™コーン”を採用しています。既にHL Compact ES-2にも採用されているこのRADIAL™コーンは、軽量で堅牢なポリプロピレンのメリットを活かしながらアルミニウ

ムの配合量を最適に調整、しかもダイアフラムの中心から周辺にかけてブレンドを変えていくことにより、中・低域、中・高域それぞれの帯域でコーン表面に発生する諸問題を低減するというハーベス・オリジナルの技術です。ハーベスでは、このコーン製造のために高精度成型機材をも導入、通常規格の真空成型ポリプロピレン・コーンを凌駕する物性をそなえたドライバー・ユニットの開発に力を入れました。スピーカーの再現能力、とりわけ人間の声の再現において最もクリティカルな帯域たる中・低域のスムーズネスと緻密性にかけては常に高い評価を集めてきたハーベス。そのあたたかく端正な“ハーベス・サウンド”は、この技術によってさらなる密度とエネルギー感を獲得したのです。

そして、ハーベスならではの帯域バランスも、この3ウェイ・システムにおいてますます磨かれています。その鍵を握っているのは入念なクロスオーバー・ネットワーク設計。コンピューター・グレードの基板をはじめとする厳選の、しかも必要最低限のパーツにてアラン・ショー自らの手で組み上げられたこの回路は、コンピューター上でのテストと幾度もの試聴を経てマウントされており、各ユニットの持てる力を純度高く引き出します。

## SPECIFICATIONS

形式	3ウェイ・フロント・バスレフ型
使用ドライバー・ユニット	中・低域：200mm口径 カスタムメイド RADIAL™コンボジット・コーン型 高域：25mm口径 カスタムメイド フェロフルード・クールドアルミニウム・ハード・ドーム型
超高域	20mm口径 カスタムメイド チタニウム・ハード・ドーム型
クロスオーバー周波数	3.5kHz、10kHz
周波数特性	40Hz~24kHz (±3dB)
インピーダンス	8Ω
最大入力	150W (プログラム)
出力音圧レベル	86dB/W/m
推奨アンプ出力	25~150W
寸法	幅323×高さ635×奥行305mm
重量	16.8kg
入力端子	バナナ・プラグ対応、 バイワイヤリング機能
仕上げ	チェリー

\*仕様は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

**m+** M-plus Concept

エムプラス コンセプト

横浜市港南区上大岡西2-8-20 柳下ビル 〒233-0002  
TEL045-845-7639 FAX045-845-7639